

第3回 畠山公開シンポジウム

# 水墨のジャポニスム

## —越境する書と画

# 水墨



ホイッスラー《青と銀のノクターン》1871-72年、フォッグ美術館



マルケ《手押し車》1904年

- 宮崎克己 (美術史家)
- 菊山武士 (書家)
- 三瀬夏之介 (日本画家)
- 板倉聖哲 (東京大学教授)
- 水田至摩子 (畠山記念館学芸課長)
- 南明日香 (相模女子大学教授)

主催：ジャポニスム学会

共催：公益財団法人 畠山文化財団

協力：帝京大学、公益財団法人 畠山記念館、株式会社 荏原製作所

## 帝京大学 霞ヶ関キャンパス 畠山記念館 (見学会)

### 2013年10月18日(金) 19日(土)



### アクセス

帝京大学霞ヶ関キャンパス(東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー9階)

東京メトロ有楽町線、半蔵門線、南北線「永田町駅」(4番出口)  
より最高裁判所方向へ徒歩約1分、平河町森タワー9階

畠山記念館(東京都港区白金台2-20-12)

都営浅草線「高輪台」駅(A2出口)を左折、徒歩5分  
東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅(1番出口)より徒歩10分

# プログラム

## 10月18日（金）

### 【シンポジウム関連事業】

9:30-11:30 「水墨の技法と表現を愉しむ」帝京大学美術史演習によるワークショップ  
(東京永田町、帝京大学霞ヶ関キャンパス)

### 【第1セッション 見学会】

13:00-14:30 島山記念館「書の美—和歌のころ・禅のころ—」展見学会  
(東京白金台、島山記念館)

### 【第2セッション ワークショップ】

15:30-17:30 若手研究者によるワークショップ(東京永田町、帝京大学霞ヶ関キャンパス)  
「版と墨の変容—暁斎とヤンセン」小林優(足立区立郷土博物館専門員)  
「高島北海の席上画とその筆致」鶴飼敦子(東京大学東洋文化研究所特任研究員)  
「ジョージア・オキーフと水墨画」玉井貴子(早稲田大学大学院博士後期課程)

## 10月19日（土）

### 【第3セッション 水墨の現在】

9:30-10:00 開場(東京永田町、帝京大学 霞ヶ関キャンパス)  
10:00-10:10 開会のあいさつ 馬淵明子(国立西洋美術館館長・ジャポニズム学会会長)  
10:10-10:15 共催のあいさつ 長田憲幸(公益財団法人島山文化財団常務理事)  
10:15-11:00 「水墨のジャポニズム・概観」宮崎克己(美術史家・ジャポニズム学会理事長)  
11:00-11:40 「現代書家の眼から」菊山武士(書家)  
11:40-12:20 「水墨画は可能か？」三瀬夏之介(日本画家)

### 【第4セッション 受容の軌跡】

14:00-14:30 「欧米美術館における水墨画コレクション」板倉聖哲(東京大学教授)  
14:30-15:00 「欧米における書の理解」水田至摩子(島山記念館学芸課長)  
15:00-15:30 「西洋における水墨画の受容」南明日香(相模女子大学教授)

### 【第5セッション 総合】

15:45-17:00 共同討議「水墨の交流とその未来」  
17:00-17:15 閉会のあいさつ 岡部昌幸(帝京大学教授)  
17:30-19:30 懇親会



ファン・ゴッホ《広重「名所江戸百景亀戸梅屋舗」模写》(部分)  
1887年、ファン・ゴッホ美術館

### ＜趣旨＞

19世紀後半の欧米において、日本の浮世絵、琳派などが愛好され、それらの色彩や装飾性は印象派やアールヌーヴォーに影響を与えました。しかし近年では、そうした良く知られるジャポニズムのかたわらに、日本の筆遣いやモノクロームの表現に魅せられた者たちがいたことも注目されています。

西洋では、日本・東洋文化のもっとも奥深い部分をなす水墨(書と画)をどのように理解してきたのか、そこではどのようなコレクションが形成されたのか...、このシンポジウムでは、このジャポニズムの隠れたもう一つの系譜について探ります。

パネリストとして、国内・海外で活躍する現代の書家と日本画家、言葉と造形の両面から西洋における水墨の受容を考える美術史家・文化史家が、それぞれの立場から発表し、意見をかわします。

島山記念館では、「書の美—和歌のころ・禅のころ—」展を開催しており、その見学会もシンポジウムの一環として組みこまれます。

### 参加申し込み方法

下記連絡先へ、①10月18日(金)、②19日(土)、③懇親会のいずれにご参加かを明記の上メールまたはFAXで参加申し込みをお送りください。参加証をお送り致します。なお、定員100名に達し次第、締め切らせていただきます。

申込期間 10月1日(火)～10月15日(火) ジャポニズム学会事務局(連絡先)  
Email japonisme@world-meeting.co.jp  
FAX 03-3341-1830  
ホームページ <http://www.world-meeting.co.jp/japonisme/>

シンポジウム参加費(資料代)500円  
懇親会参加費2000円(いずれも当日受付にて頂きます)